

CONTENTS

特集
Special Features

失われゆく情報の復元・保存技術 —人文科学における情報処理— (文献学・データベース共有・史料編纂)

Restoration and Preservation Technologies for Vanishing Information : Information Processing in the Humanities

- 940 編集にあたって 山田奨治
Foreword Shoji YAMADA (International Research Center for Japanese Studies)
- 941 古典和歌からの知識発見—モバイルスーツを着た国文学者— 竹田正幸・福田智子
Knowledge Discovery in Anthologies of Classical Japanese Poems : Literary Scholars in Mobile Suits Masayuki TAKEDA (Kyushu Univ. / PRESTO, Japan Science and Technology Corporation (IST)) and Tomoko FUKUDA (Junshin Women's Junior College)
- 950 古文書を対象にした文字認識の研究 山田奨治・柴山 守
Outline of Historical Character Recognition Project Shoji YAMADA (International Research Center for Japanese Studies) and Mamoru SHIBAYAMA (Osaka City Univ.)
- 956 新約聖書のルーツを求めて—その統計解析— 中川正宣・三宅真紀・赤間啓之・佐藤 研
Research on the Roots of the New Testament - Its Statistical Analysis - Masanori NAKAGAWA, Maki MIYAKE, Hiroyuki AKAMA (Tokyo Institute of Technology) and Migaku SATO (Rikkyo Univ.)
- 961 東京大学史料編纂所における特別推進研究「前近代日本の史料遺産プロジェクト」について 横山伊徳
"The Japan Memory Project" in the Historiographical Institute, the University of Tokyo Yoshinori YOKOYAMA (Univ. of Tokyo)
- 968 Z39.50 とメタデータによる研究機関間連携 原正一郎
Linking Humanity Research Institutes by Metadata and Z39.50 Shoichiro HARA (National Institute of Japanese Literature)

事例
Case Study

- 975 日本のIT産業を考える—モノ作りへの回帰— 田中秀樹
The Key to the Japan's Success : Start from Scratch Hideki TANAKA (NTT Data Pocket Corp.)

解説
Articles

- 981 ユビキタス・マルチメディアの融合を目指す MPEG-21 標準化の動向
金子 格・白井克彦・阪本秀樹
Towards the Fusion of Ubiquitous Multimedia - Current Status of MPEG-21 Standardization - Itaru KANEKO, Katsuhiko SHIRAI (Waseda Univ.) and Hideki SAKAMOTO (NTT R&D Strategy Department)
- 988 モバイル・地図へと応用広がる Web グラフィクス標準規格 SVG 小林亜令・高木 悟・井ノ上直己
SVG with an Increased Potentiality for a Map and Mobile Applications Aeri KOBAYASHI, Satoru TAKAGI and Naomi INOUE (KDDI R&D Labs., Inc.)
- 1018 やさしいハードの話：携帯機器用燃料電池 島川祐一・吉武 務・久保佳実
Introduction to Hardware : Direct Methanol Fuel Cell for Portable Electronic Devices Yuichi SHIMAKAWA, Tsutomu YOSHITAKE and Yoshimi KUBO (NEC Corp.)

- 995 IETF 第54回 IETF 横浜会議報告** 村井 純・山本和彦・田村 博・竹井 淳・今村和幸
IETF: Report of the 54th IETF Meeting in Yokohama Jun MURAI (Keio Univ.), Kazuhiko YAMAMOTO (Internet Initiative Japan Inc.), Hiroshi TAMURA (Ricoh Co., Ltd.), Jun TAKEI (JSAT Corp.) and Kazuyuki IMAMURA (Mitsubishi Electric Information Network Corp.)
- 1002 とつきよの話** 大学等の研究機関にとっての産学連携 南 義明
Patents of the Day: University - Industry Cooperation for University Researchers Yoshiaki MINAMI (Japan Patent Office)
- 1009 プログラム・プロムナード** 点の集合を包含する球 石畑 清
Program Promenade: Smallest Enclosing Sphere Kiyoshi ISHIHATA (Meiji Univ.)

- 1006 地域社会と IT** IT で変わる福井・福井が変える IT 桜井哲真
IT for Local Community: IT Changes Fukui and Fukui also Changes IT Tetsuma SAKURAI (Fukui Univ.)
- 1016 20世紀の名著名論** Prominent Books and Articles in the 20th Century
N. Wiener: Cybernetics or Control and Communication in the Animal and Machine
 甘利俊一
N. Wiener: Cybernetics or Control and Communication in the Animal and Machine Shun-ichi AMARI (RIKEN Brain Science Institute)
- 1017 20世紀の名著名論** Prominent Books and Articles in the 20th Century
John Backus: Can Programming Be Liberated from the von Neumann Style? A Functional Style and its Algebra Programs 米澤明憲
John Backus: Can Programming Be Liberated from the von Neumann Style? A Functional Style and its Algebra of Programs
 Akinori YONEZAWA (Univ. of Tokyo)
- 1022 モバイルは今** GPS の仕組み (2) 砂原秀樹
Mobile Technologies, Now: Global Positioning System (2) Hideki SUNAHARA (Nara Institute of Science and Technology)
- 1024 アメリカ IT まわりの話題** コラボレーション 藤崎哲之助
IT Topics in the US: Collaboration Tetsu FUJISAKI (Collabo-Technology, Inc.)
- 1026 研究会たより** 学問の粒度 萩谷昌己



その他

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 1027 著者紹介一覧 | 1045 有料会告について |
| 1028 おふいすらん | 1046 書評・会議レポート募集のお知らせ |
| 1029 おふいすらん | 1047 海外からの送金方法について |
| 1030 会員の広場 | 1048 アンケート用紙 |
| 1032 IPSJ カレンダー | 1049 編集室/次号予定目次 |
| 1034 人材募集 | 1050 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |
| 1043 有料会告 | |

編集系独白

Edsger W. Dijkstra は、計算機科学界に多大の業績を残して 8 月 6 日、ガンのため死去。享年 72。1976 年に来日している。機知に富む多数の警句があり、Lisp を “the most intelligent way to misuse a computer” と絶賛した (情報処理 Vol.18, pp.1248-1256 (1977) および Vol.43, p.190 (2002))。

今月 (と来月) の特集は「失われゆく情報の復元・保存技術」。日文研の山田奨治が編集を担当。計算機の応用では比較的遠方にあると思われていた文科系だが、古歌どうしの関係の発見や、書物の成立過程の推測、膨大なデータベースのブロードバンドによる公開などに、計算機活躍の場がかくもありしかと知る。

今月は規格関係が 2 件出揃う。小林亜令他「モバイル・地図へと応用広がる Web グラフィクス標準規格 SVG」と金子格他「ユビキタス・マルチメディアの融合を目指す MPEG-21 標準化の動向」である。前者は現在の HP の図が jpeg イメージで固定サイズにしか表示できないのを、大きき可変で表示したいという願望を実現しようとするものである。一方、後者はブロードバンド時代のコンテンツの管理を目標において制定中のものだ。規格番号は 21000 だそうだが、14000 とかラウンドナンバーが次々と使われ、やがて天文学的な規格が現れるのではないかと杞憂している。

IETF の連載は今月で幕。今回は村井純他による 7 月の横浜会議の総括報告となった。WIDE プロジェクトでは、成田から横浜まで IP リーチャブルにするぞとぶちあげていたが、その顛末につきては本稿を読まれたし。

やさしいハードの話は島川祐一他に「携帯機器用燃料電池」を書いて貰う。前述の IETF 会議では、情報には無線 LAN が使えたが、電源も必要とコンセントを大量に設置した。参加者がノート PC を充電しつつ会議に出ているので、相当なパワーを食ったらしい。燃料電池自動車は大気汚染もせず、PC は電池が長持ちし、瞬間充電できる。早く実用化して欲しいものである。

「日本の IT 産業を考える」田中秀樹は IT 業界で起業した経験を振り返る。そういえば How to kill ideas は先に他界した高橋延匡の教授室にも掲げてあった。皆さん、一度は読んでみよう。

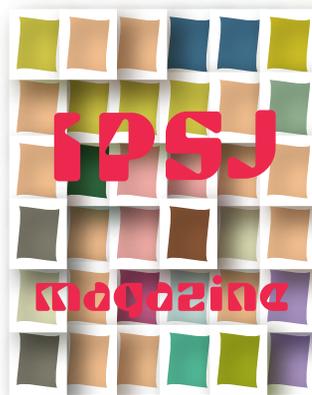
昨今、ファイバーといえば即、光ファイバーだと思ってしまうが、桜井哲真の「IT で変わる福井・福井が変える IT」で福井大学に新設されたファイバーアミニティ工学専攻の話を読むと、お、ファイバーってそうだったんだ。

知られざる計算機 (2 月号) に寄稿した神戸大学の滝は、いわゆる技術移転でいまは LSI 開発ベンチャー、AIL の社長をやっている。今月のとつきよの話、南義明「大学等の研究機関にとっての産学連携」には技術移転に必要な特許の説明がある。いろいろいいことあるらしい。一旗掲げんとする向きには必読であろう。

アメリカ IT まわりの話題では藤崎哲之助が「コラボレーション」のテーマでアメリカの企業人がどう働いているかを伝えている。アメリカ企業 (いや大学も) のイメージはみんなが大型の自動車通勤してくるといった図だったが、いまでは check email, check web sites, ... なのか。編集部も IP 電話会議をよくやるが、ノイズは左程気にならず。

ブロンナードは石畑清「点の集合を包含する球」。昨年この問題を読んだ時、計算幾何学的に解くことしか念頭になく、そうプログラムしたが、空間の 8 分割を繰り返す方法もあったとは！ そういえば N 体問題用の Barnes-Hut 法も空間 8 分割だ (Nature 324, pp.446-449 (1986))。

名著名論は甘利俊一が Wiener の「Cybernetics」を、米澤明憲が Backus の「von Neumann ボトルネックと関数プログラム」を紹介した。Wiener は 1950 年代の訪日の折、夫妻で同じ探偵小説を買い、それぞれで読んでいた。なぜって結末を相手に聞くのは癪だからだそう。一方、この記事に出てくる会議での Backus は G パン姿でそれはかつこよかったという。(味)



会誌編集委員会

編集長

和田 英一

担当理事

天野 真家

丸山 宏

本号エディタ

上林 憲行

斉藤 功

笹氣 光一

田代 秀一

塚本 節男

出口 豊

平井 千秋

松下 智

森川 直人

山岡 正輝

山田 奨治

編集スタッフ

後路 啓子

湯本 祐子

綿谷 亜樹

■ 43 巻 9 号掲載広告目次 (五十音順)

インタフェース……………	前付 5	電子情報通信学会……………	前付最終下
エッチ・アイ・ティー ……	表 4	日本データバシフィック……………	表 2 対向
オーム社……………	前付 3	パーソナルメディア……………	前付 4
共立出版……………	前付 2	日立製作所……………	表 3
ソフト・リサーチ・センター	前付最終上	陽栄ハウジング……………	表 2

*掲載広告のカタログ・資料をご希望の方は、お名前、電話番号、勤務先または学校名を明記の上、E-mail または Fax にてご請求ください。

広告総代理店 (株) 精機通信社
E-mail: sei@ss-com.co.jp
Fax(03)3368-1519